



I'mネット通信 No. 31

「いばらきマンション管理組合ネットワーク」からのお知らせです。

これからのエネルギー選択肢は何かを学ぶ

今回はガス・電力の自由化が開始され、①マンション運営ならびに住民にどのような期待が得られるのか？ ②採用選択に際し事前に理解すべき課題は何か？の二視点で、関西電力、大阪ガス双方から状況説明を頂く事になりました。

尚、開催に先立ち両社には中塚役員から数点の質問項目を事前に示しており、双方それに合わせる内容を盛り込んだ説明でありました。

ただ、結論から申し上げますと、各社の持ち時間が1時間とタイトであったことから説明に終始する展開となり質疑応答の時間が少なかった様に感じました。

しかし、自由化だからと言って利用サイドの面において従来と大きく変わるところは少なく、理解し易い内容でした。

拝聴して感じたことは、検討比較の際のポイントが自宅のエネルギー消費量を詳細に調べておくことが重要ということでした。それは料金表の説明に多くのオプションがあり、それぞれが今の契約形態により選択肢が異なる要素もあり、内容を深く理解することに幾分ついていけなかったところがあり、事前調査するか請求書を持参して説明を聞くことが大切と思う点が何度かありました。

又、これからのビジネス環境の変化（例えば関電の原発再稼働という変化）から、料金競争が激化するのではと思いました。繰り返しになりますが、一般的な使用状況である（オール電化を採用されているとか、床暖房等特別な料金形態をとられているご家庭以外）ならサービスの質的面が劇的に変わるという不安材料はなく、各自のエネルギー消費量の見極めが選択肢として重要なポイントになるのではと思いました。

概要は以下の通りです。

■関電ガスの自由化

○関電は外国からLPGを輸入し、その70%は火力発電の原料に、30%はその他大手企業等のエネルギー材料として販売しており、その一環として、このたびの自由化でLPGを大阪ガスのガス・ネットワークに供給する仕組みで自由化を具体化している。

○だから各家までのパイプラインは従来の大ガスのものを使用し、個人の部屋に入ったところから

は関電ガスのビジネス領域となる。

- 関電ガスは岩谷産業と組んだ『関電ガスサポート』が、そのすべての責任を負うビジネスモデルである。
- ただ前述のオール電化のような形式で大ガスと契約している先、又、ガス漏れ検知器（ピコピコ）のメンテナンスは関電ガスサポートでは対応しない。
- 大阪ガスの供給先をビジネス・エリアとしている。それ以外は未サービスとなる。大阪北営業部のエリアは関電エリアの30%にあたり、6万件をターゲットにしている。関電全体では、現時点で16万件を切り替えたと聞いている。
- 料金は、従来から3%の割引で、早期割引では更にプラスαが加算し、平均10%ぐらい安くなる。月33立米の家庭で2,000円ほど安い。
- 請求形態は二本立てとなり従来通り。メンテナンスは関電ガスサポートが行う。契約切り替えは簡単。検診はインターネットで行う予定。でも紙ベースでという顧客には従来通り紙ベースで行うが紙代は別に要する。ガス漏れ検知器ピコピコは大阪ガスと契約続行となる。
- 床暖を使用の顧客は従来通り大ガス対応でお願いします。今のところ大阪ガスのサービス以上の策がないからそのまま契約されている方がいい。これはオール電化の顧客に大阪ガスが対応できない事と同じ理屈。

Q&A

- Q、16万件の成約済と伺ったが、クレーム等の問題は如何か？ 加えてマンションの共有部分のガスの扱いはどのようになっているのか？
- A、走り出したばかりでクレーム等は起こっていない。しかしこれからも起こらないという保証はないことから予想して対応していく。共有部分の契約も特別な扱いではなく、一般の契約と同一と考えている。

■大阪ガスの電気自由化

- 当社の電気の自由化は2,000年から段階的に行われており、昨年4月から家庭、商店、マンションが電力会社を自由に選ぶことが出来るものです。ただし、マンションで一括受電している処は対象外である。
- マンションでの共用部の電力使用形態は高圧、低圧どちらでも契約できる。
- 自社の発電能力は火力発電、風力発電、太陽光等で184万kW、これは原発2基相当の能力を持ち安定した供給能力がある。関電の送配電ネットワークを使い供給することから、今までと何ら変わることはない。
- 一般用電気工作物（配電盤等）の管理、検査は今迄通りで、関電から依頼を受けている（関西保安協会のような）業者が行う。
- 切り替えてくれた顧客数は30万件を越えた。その成功要因は、地域密着と丁寧な説明（200に及

ぶ販売店とのコラボ) と料金シミュレーションによる疑問点に対する対応と、15年以上にわたる電力販売実績からの情報活用の何たるかを体験しているからである。

○大阪ガスを選ぶ時の目安は、ご家族が多い家庭のように大量に電力消費のご家庭であればあるほど得られるメリットが大きい。

○切り替え手続きは全て大ガスが行うことになっている。これは関電も同じ。

○支払いはガスと電気の二本立ての請求はせず、一本で纏めて請求する。勿論 web 対応も準備している。

○マンションとの契約で共用部電力のみ大ガスに切り替えたから専有部もという縛りはない。契約者の自由に任せている契約形態である。

全体感想

今回、関電のガスの自由化、大ガスの電気の自由化のプレゼンを聞き、ポイントは料金比較が大きな意味を持っていると感じました。只、マンション（賃貸、分譲含め）との取り組み方は大ガスが先行しているように思いました。

その第一は、説明にマンションとの契約事例を多く入れていたこと。それが管理組合運営の細かいところまで、きめ細かく盛り込まれていること、特に関電ガスで出された質問に関した内容が事前説明に盛り込まれていたこと等からです。又、大ガスの電気自由化の目玉かと思った点は、マンションに出向き住民説明会を開催するときPCを持ち込みシミュレーションで個々人のコスト削減額をその場で即提示する事でした。これらが切り替え件数増進の背景ではと思いました。

更にその企画実施を料金割引制度に盛り込んでもおり、何がビジネスのポイントかを熟知している内容にも関心を持ちました。只、料金競争がそのすべてですから関電が値引きを繰り返してくると大ガスがどこまで対応可能かという点では、時としては関電に無料で切り替えが可能である、にとどめた処に苦勞が見えました。

(文責 横須賀亮一)

茨木市内の分譲マンションの区分所有者なら、どなたでもお気軽にご参加いただけます。いばらきマンション管理組合ネットワーク「I'mネット」にご参加ください。

問合せ先 茨木市 都市整備部 居住政策課内

TEL / 072-655-2755 (直通)

FAX / 072-620-1730

**次回の定例会は平成29年9月8日(金) 19時から
男女共生センターローズ WAM 会議室にて行います**